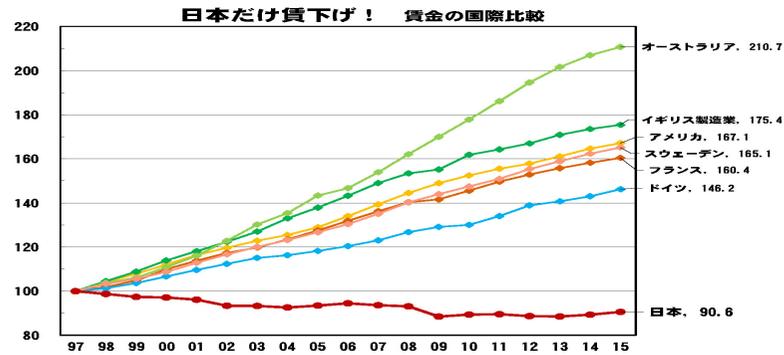
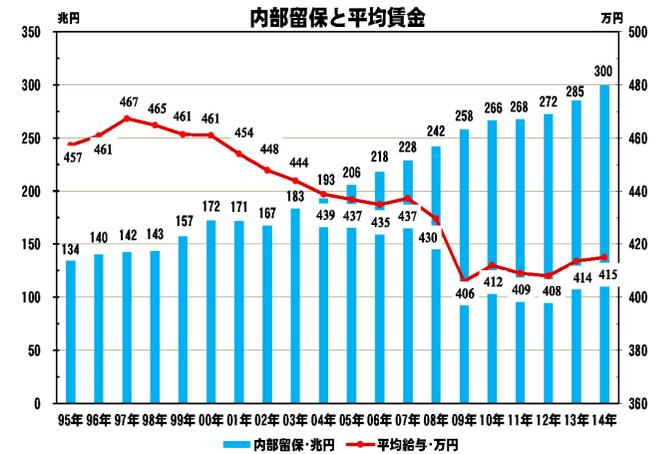


内需拡大で暮らし・経済の好循環へ



出典: OECD統計より作成。民間産業計の賃金(時間外手当・一時金含む)だが、イギリスは製造業の集計。97年を100として、名目賃金を比較している。なお、日本のデータは毎月勤労統計調査による。
注) 2015年は第1~第3四半期の単純平均。ただし、フランスとドイツは第1・第2四半期の単純平均、オーストラリアは2013年以降、第2と第4の四半期の単純平均としている。

賃金引上げで
明るい未来と
日本を元気に



注1) 内部留保は、財務省「法人企業統計年報」から資本金10億円以上の金融・保険を除く企業約5千社
注2) 平均給与は、厚労省「民間給与実態統計調査」から1年を通じて勤務した給与所得者1のみの平均

世界的にみても労働者の賃金は、日本だけが下がりが続いているという異常な状況が続いています。

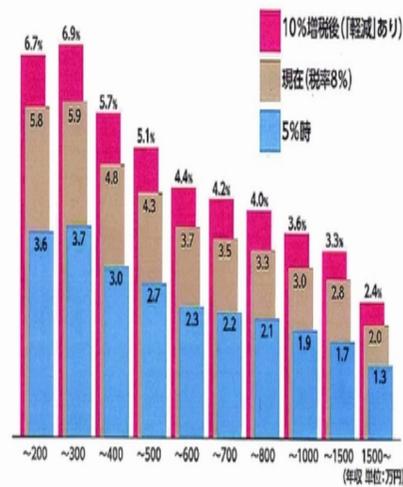
安倍政権の閣僚も労働者の賃上げは必要だと言うものの、アベノミクスは大企業だけに優しく、国民や労働者に厳しいアベコベの政策です。

2017年4月からは、消費税を10%に引き上げ、法人税は35%から20%台にまで引き下げる政策は、今以上に景気に悪影響を及ぼします。

今、景気を回復させるためには、大企業が溜め込んだ内部留保を取り崩し、すべての労働者に大幅な賃上げだけが特效薬です。

一緒に声を上げ、格差や貧困の無い暮らしやすい日本を作り上げましょう。

年別消費税率(年収に占める割合%)



安倍政権が進めている「アベノミクス」により、輸出大企業を中心に史上空前の利益がもたらされています。

一方、国民や労働者は賃金が上昇しない中で、円安による輸入価格の高騰や、社会保険料の値上げ、消費税の負担増が押し付けられ、日々の生活を苦しめています。

財務省が発表している「2014年度法人企業統計」では、大企業の経常利益は過去最高となり、内部留保も354兆円と莫大な資金が企業内部に溜め込まれています。

お金が国内に循環せず、企業内に溜め込まれているのが今の日本経済の現状です。